

研究課題番号	3RF-1902
研究課題名	特異的イオン対形成を利用した白金族金属リサイクル技術の開発
研究実施期間	平成 31 年度（令和元年度）～令和 2 年度
研究機関名	秋田大学
研究代表者名	松本 和也

1. 委員の指摘及び提言概要

ビーカーレベルとしては期待以上の成果を上げているように思われる。個別反応について、目標を達成する成果が得られている。白金族元素のリサイクルに大きな成果をもたらさそうに評価できる。特許取得、企業との共同研究も展開されており、実用化に向けた研究成果が出てきているものと判断する。研究成果の達成は項目別に明確であり、かつ第一級アミンの塩基性から、より溶媒抽出にふさわしい回収材の探索のメカニズムに踏み込んでいて、歓迎される。従来技術に取って代わる技術として実用化されるよう、廃液処理やコスト面にも考慮しながら、研究を継続していただきたい。スケールアップの段階では、実回収液の試験や廃水処理などの二次対策も検討する必要がある。

2. 採点結果

評価ランク：S